

原料費調整制度に基づく2025年7月検針分のガス料金について
(東京地区等)

東京ガス株式会社

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

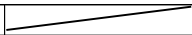
	(消費税込)					
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³) (参考)	176.13	161.28	159.08	155.78	146.98	139.28
6月 調整単位料金	179.79	164.94	162.74	159.44	150.64	142.94

2. 標準家庭における影響

	(消費税込)		
1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2025年 6月	2025年 7月	増減
適用料金(円/月)	6,004	5,894	▲ 110

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量（2018年度～2022年度の5ヵ年平均）に基づき算定しています。

3. 原料価格の変動

	(円/t)		
	2025年1月～2025年3月 の平均 (6月検針分)	2025年2月～2025年4月 の平均 (7月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	95,950	91,910	▲ 4,040
LNG	95,620	91,450	▲ 4,170
LPG	97,200	95,670	▲ 1,530
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	38,700	34,600	▲ 4,100

- LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値)	91,450	×	0.9479
+ LPG平均原料価格(貿易統計値)	95,670	×	0.0546
	91,909.03		
	↓ (10円未満四捨五入)		
	91,910	円/t	

■原料価格変動額の算定

91,910	円/t	－	57,250	円/t	=	34,660	円/t
↓ (100円未満切捨て)							
						34,600	円/t

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

単位料金調整額	=	34,600	円	/100円×0.0891 ^{*1}
	=	30.82	円 ^{*2}	

*1 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等					
本体料金(税込)	=	基本料金(1,056.00円)			
	+	調整単位料金(130.46円)	+	30.82	円) ×30m ³
		基準単位料金(税込) ↑		↑ 単位料金調整額(税込)	
	=	5,894	円		・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。